

平成23年度(第41回)

高松宮妃癌研究基金学術賞候補者推薦要領

平成23年9月

1. 授賞対象 日本人研究者が日本で行った研究で、がんに関する研究上の業績が特に顕著なもの。
2. 学術賞 本賞:賞状 副賞:300万円
原則として基礎領域より1件、臨床領域より1件、計2件。
3. 候補者推薦の方法 候補者の推薦は、原則として日本癌学会評議員によるものとする。推薦は基礎もしくは臨床領域のいずれか1領域から1件のみを、所定の推薦用紙に必要事項を記入の上、当財団宛に送付する。
4. 推薦締切期日 平成23年10月31日(当日消印有効)
5. 選考方法 学術賞受賞者は下記委員からなる学術委員会において選考し、理事会において承認の上、決定される。

学 術 委 員

委員長	杉村 隆	国立がんセンター名誉総長
委員	今井 浩三	東京大学医科学研究所附属病院長
	海老原 敏	(財)佐々木研究所付属杏雲堂病院院長
	垣添 忠生	(公財)日本対がん協会会長 国立がんセンター名誉総長
	岸本 忠三	大阪大学大学院教授、元同大学総長
	関谷 剛男	(財)佐々木研究所研究所長・理事
	富永 祐民	愛知県がんセンター名誉総長
	豊島 久真男	(財)井上科学振興財団理事長 (独)理化学研究所研究顧問
	西村 暹	筑波大学客員研究員
	武藤 徹一郎	(公財)がん研究会上席常務理事・メデカルディレクター・名誉院長

(五十音順、敬称略)

6. 選考結果の通知 採否に関らず、選考結果は平成24年1月末頃、推薦者に通知する。
7. 学術賞の贈呈 平成24年2月22日(水)(予定)、都内ホテルにおいて贈呈式を開催し、受賞者本人に賞状と副賞の目録を贈呈する。なお、当財団規定により受賞者本人と配偶者の旅費を支弁する。
- (注) a. 各領域において複数の受賞者が選考された場合には、賞状は受賞者全員に、副賞は人数に応じて均等に分割して贈呈する。
b. 当財団の理事、監事、学術委員は候補者の対象にならない。
c. この学術賞の副賞は、所得税を免除されている。
d. 提出された書類は一切返却しない。
8. 個人情報の取扱いに関して
- (1) 当財団が、応募書類から得た応募者の個人情報は、受賞者の選考、審査、本人への通知など、選考業務に限定して使用する。
- (2) 受賞者の氏名、所属、研究題目は、当財団ホームページにてWEB上公開するほか、内閣府へ報告する。また、学術賞贈呈式の写真を当財団機関誌・ホームページに掲載する。

(推薦書提出先)

公益財団法人 高松宮妃癌研究基金
〒108-0074 東京都港区高輪1丁目14 - 15 - 102
電話 (03)3441-0111
FAX (03)3441-0112
メールアドレス: info@ptcrf.or.jp